

4コマ漫画で表現力を高めよう

教科	国語	単元名	故事成語
----	----	-----	------

本時のねらい

故事成語の意味やその成り立ちを、相手が理解しやすいよう4コマ漫画にまとめ、表現することができる。
聞き手が理解しやすいように発表の方法を工夫し、自分と友だちの発表について共通点と違いについて理解することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

個人で作成した故事成語の説明を4コマ漫画にまとめることで、4枚のイラストの中で相手にうまく伝えるための工夫を考えさせる。
作成した4コマ漫画を活用して、表現の工夫について話し合い、それぞれの故事成語についての理解を深める。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレットPC ・プロジェクト ・授業支援ソフト（ミライシード）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のねらいを確認し、学習の見直しを持つ。 ○発表に向けて、個人で練習し、発表内容について整理する。 ○評価シートについての説明を聞き、発表の際の大事なポイントについてクラス全体で確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援ソフト（ミライシード）を活用しながら、どのような発表をすれば、相手が聞きやすく、理解しやすいかを考えながら練習するよう伝える。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○作成した故事成語の4コマ漫画を示しながら発表する。 ○聞き手は、発表について理解したことやもっと知りたいことなど、メモを取りながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを提示しながら発表することで、効果的に内容を聞き手に伝えることができる。 ・発表している内容と提示しているスライドの写真やキーワードが合うように、動作で示しながら発表すると、聞き手が理解しやすいことを伝える。 ・ノートにメモを取ったり、タブレットPCのメモ機能を活用したりすることで、発表内容を自分なりの言葉で整理することができる。また、評価シートへの記入の際にメモを活用することで、発表を振り返りながら記入することができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○評価シートに発表についての良かった点や工夫が見られた点など、気づいたことを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表についての評価や感想を授業支援ソフト（ミライシード）内の評価シートに記入することで、瞬時に一覧として確認することができる。また、時間内に記入することが難しい生徒にとっても、授業後にも続きを記入することができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：生徒が作成した4コマ漫画を一眼で表示し、それぞれの作品を確認している様子



写真2：作成した4コマ漫画を、授業支援ソフト（ミライシード）を活用して提示している場面



写真3：作成した4コマ漫画を示しながら、発表している様子

児童生徒の反応や変容

・タブレットを活用して発表を行うことは、これまでに何度も行っているため、操作の面で困っている生徒はほぼいなかった。しかし、4コマ漫画にまとめるという点について、どの場面をイラストにすればよいかや、短い表現で相手に伝わるようにするにはどうすればよいか、悩みながら制作している生徒が多かった。
・生徒同士で、相談したり助け合ったりしながら作成する場面が多くみられ、生徒は作成に戸惑いながらも真剣に取り組んでいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

4コマ漫画を作成する難しさを経験する中、互いに助け合える和やかな雰囲気で作成したり、発表したりできるように心がけた。また、発表に対しても、その姿勢や態度、発表内容について具体的に褒めることで発表者の自己肯定感を高めることをめざした。ICTを活用することで、子どもたちの考えが瞬時に把握できるため、個別の指導に生かすことができる。

タブレットPCを活用しての発表はこれまでに複数回行っているが、相手を意識しながらの発表については、経験を積み重ねていく必要がある。